

「つくる」商店街

一衰退した商店街に再び活気を一

商店街の空き店舗を、ものづくりができる体験型施設にコンバージョンする案を提案する。

現在、商店街は全国的に衰退傾向にある。そんな中で、これからの商店街は今までの商業としての機能とは違う機能が必要だと考えた。

この商店街では、浜松の特産物を使ったものづくりを体験することができる。

これにより、浜松の魅力を発信し、新たな観光の場となれば、さらに商店街が賑わい街全体が活気にあふれるだろう。



○ 配置図

・案内所は商店街の入り口に配置。
→どんなものづくり体験ができるかを知ることができる。
また、ここで体験予約もできる。

・体験施設でひとまとまりさせず分散させるように配置。
→体験施設以外の現在でも営業しているお店にも人が流れるように。

・公園では、地域の子どもたち、そして観光で訪れた子どもたちの遊び場となる。



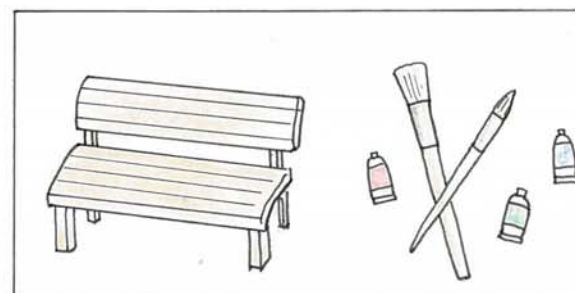
○ 3つの「つくる」

① ものをつくる



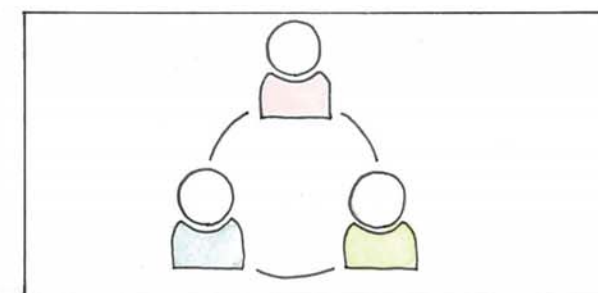
商店街のつくりを生かして、空き店舗ごとに木工や染物、アートなどものづくりのジャンルを変える。
そうすることで、違った難しさや楽しさ、魅力を感じることができる。
また、年齢を問わないことで、誰でも気軽にものづくりを体験できる。

② 商店街を地域全体でつくる



月1のイベントとして、地域の人で商店街の設備や、商店街の一部にアートを残す。
→より商店街を身近に、積極的に考えることができる。
また、イベントに参加した人には、現在営業しているお店で使える割引券を付与。
→商店街での買い物を促進できる。

③ 未来をつくる



ものづくりを通して、地域の人同士を繋げることで地域のコミュニティの場となる。
さらに、商店街が観光の場にもなることで商店街の維持ができる。
また、浜松の魅力を観光客の人たちに広く発信することで、浜松の街全体が豊かになるだろう。

○ 敷地



静岡県浜松市 砂山サザンクロス商店街

昔は店が多くにぎやかな商店街として栄えていた。
しかし、今では店が少なくなり空き店舗が目立っている。
定期的にイベントが開催され賑わいをみせているが、平常時の集客に繋がっているとは言い難いのが現状。

○ ものづくりの街 浜松

浜松市は、楽器、バイク、自動車など、ものづくりが有名な街。
また、自然豊かで、日本三大人工美林の1つである天竜材が有名。
さらに、「浜松注染そめ」といわれる伝統的な染色技術を用いた伝統工芸品がある。

ー 天竜絵 ー



画像引用：永田木材 <https://nagamokuzai.com/archives/2663>

商店街のアーケードや店舗の外観に天竜絵を使用する
→天竜絵の香りに包まれ、あたたかな印象の商店街となる

ー浜松注染そめー



画像引用：浜松市 <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/images/9517/tyusosome2.jpg>

商店街のアーケードに注染そめの布を乾かす
→商店街が鮮やかな空間に